



主日礼拝式プログラム 8:45~10:15am



賛美

「主はわがすべて」

「私たちは一つ」

「キリストには代えられません」聖歌521

「種」

讚美画

肥田仁司

献金

牧会祈禱&主の祈り

宣教支援献金

聖書朗読 マルコ福音書4章14節~20節 酒井靖子

メッセージ「種を蒔く人④ 茨の中に蒔かれた種」

関真土牧師

賛美 「移り行く時の間も」

頌栄

祝禱

報告

会堂礼拝とオンライン礼拝が、主の御霊によって

一つとされ共に主を礼拝いたしましょう。

お知らせ

- 礼拝後10:30am 初心者クラス(関牧師 教育館2階)、分かち合いのクラス(教育館1階)、マタイ福音書クラス(アイゾン直子、第二、第三週教育館2階) 初めての方もどうぞご参加ください。
- 11月27日礼拝後11:45am 礼拝堂のアドベントの飾りつけをいたします。お手伝いくださる方、どうぞご参加ください。

アドベントとは日本語では「待降節」です。救い主の誕生を待ち望む期間です。今年は12月1日から始まります。毎週、ろうそくに一本ずつ灯がともされます。

- ワイキキホームレス宣教へのドネーションの受付は12月8、15、22日。置き場所は礼拝受付付近です。
- 心に光をクリスマス 12月7日(土)開場3:30pm 開演4pm 会場:カリヒ・ユニオン教会 ゲスト:Asiah 入場無料(献金受付あり)

献金



風の吹くままに



▼今年も感謝祭の季節がやってきました。感謝祭の起源は、1621年にイギリス人入植者(ピルグリム)とワンパノアグ族が初めて祝った収穫祭にさかのぼります。ピルグリムは、イギリスから信仰の自由を求めてアメリカに移住した清教徒(ピューリタン)の人々で、102名がメイフラワー号で北米に到着しました。しかし、慣れない土地で半数近くの人々が死にました。その時に、ワンパノアグ族が彼らに漁や狩り、トウモロコシの栽培を教えました。豊作だった1621年の秋、ウィリアム・ブラッドフォード総督は3日間の感謝の日を定め、入植者とワンパノアグ族が共に祝宴を開き、神への感謝と礼拝の時を持ちました。この時、ワンパノアグ族が鹿肉を提供し、ピルグリムたちは七面鳥やガチョウ、アヒルなどの鳥肉を準備しました。これが感謝祭の起源と呼ばれています。

アメリカは、イエス・キリストに対する信仰と神への感謝から始まった国です。この国がこの原点に立ち返り、神の祝福を全世界にもたらず国とされま



関真土牧師

sekishinji89@gmail.com

2024年度聖句 1ペテロ4章10節

それぞれが賜物を受けているのですから、神の様々な恵みの良い管理者として、その賜物を用いて互いに仕え合いなさい。

スモールグループの心得

心を傾けて聴こう、理解しよう、共感しよう。教えない、否定しない、批判しない。そのままを受け入れましょう。



分かち合いのポイント

- ①「この世の思い煩い」について考えたことを分かち合しましょう。
- ②「富の惑わし」について考えたことを分かち合しましょう。
- ③「そのほか、いろいろな欲望」について考えたことを分かち合しましょう。

マルコ4章14節～20節

種蒔く人は、みことばを蒔くのです。道端に蒔かれたものとは、こういう人たちのことです。みことばが蒔かれて彼らが聞くと、すぐにサタンが来て、彼らに蒔かれたみことばを取り去ります。岩地に蒔かれたものとは、こういう人たちのことです。みことばを聞くと、すぐに喜んで受け入れますが、自分の中に根がなく、しばらく続くだけです。後で、みことばのために困難や迫害が起こると、すぐにつまずいてしまいます。もう一つの、茨の中に蒔かれたものとは、こういう人たちのことです。みことばを聞いたのに、この世の思い煩いや、富の惑わし、そのほかいろいろな欲望が入り込んでみことばをふさぐので、実を結ぶことができません。良い地に蒔かれたものとは、みことばを聞いて受け入れ、三十倍、六十倍、百倍の実を結ぶ人たちのことです。」

引用聖句

1ペテロ5章7節
マタイ福音書6章24節
ピリピ書4章12,13節
ガラテヤ書5章16節

ホノルルキリスト教会

2207 Oahu Avenue, HONOLULU, HI 96822
日本語部 事務所 ☎ (808) 973-4335
Email: office@honoluluchristian.church



ホノルルキリスト教会2024年11月17日

週報



詩篇104篇33節～34節

私はいのちの限り 主に歌い 生きるかぎり 私の神を
ほめ歌います。私の心の思いが みこころにかないます
ように。私は 主を喜びます。